

生体認証スペシャルセッション 参加者募集

日頃より JAISA 生体認証の取り組みにご関心いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大が収束、情報経済社会が大きく変わろうとしています。その一方で、軍事侵攻や多様化・悪質化する犯罪など、安全・安心を脅かす問題が発生しているとともに、事業継続に向け、人手不足解消や付加価値向上の必要性も出てきています。

本セッションでは、その問題解決手段のひとつである人工知能 (AI) と生体認証 (Biometrics) を取り上げ、日本を代表して国際規格策定に取り組んでいる専門家の方から、導入時の注意点をわかりやすく解説いただきます。人工知能と生体認証の導入を検討されている方は必見です。

— 記 —

■開催概要

- (1)日時：2024年8月21日(水) 14:30~17:00(開場 14:15)
(2)開催：(一社)日本自動認識システム協会(JAISA) Microsoft Teams 会議システム
(3)募集：100名(事前予約制、先着順) 参加費：無料 (募集一次締切：8月6日(火))
※ 参加登録者には参加要領(参加用 URL、注意事項等)は8月7日(水)にお送りします。

■プログラム

1. ご挨拶	14:30~
経済産業省 イノベーション・環境局 国際電気標準課 課長補佐 久保 淳氏	
2. 人工知能 (AI) と生体認証 (Biometrics) の国際動向	14:40~
— 国際的な法制度と国際規格・国内ガイドライン等の制定状況について —	
(1) EU AI Act とシステム管理規格 —ISO/IEC 42001・ISO/IEC 9868	
ISO/IEC JTC1/SC37 委員長 / SC42 WG5 主査	坂本静生氏 (日本電気株式会社)
(2) 性能改善評価に便利な新精度評価方法 —ISO/IEC 5152 —	
ISO/IEC JTC1/SC37 幹事 / SC37 WG5 主査	山田茂史氏 (富士通株式会社)
※ISO/IEC SC37 (バイオメトリクス)、WG5 (テスト&レポート) の国際標準化組織	
3. スペシャルトークセッション	16:10~
—人工知能 (AI) や生体認証 (Biometrics) システム導入で注意すべき点など—	
坂本静生氏 (日本電気株式会社)	
山田茂史氏 (富士通株式会社)	
4. 事務連絡	16:40~

※諸般の事情により、予告なくタイトル、講師等が変更になる場合があります。あらかじめご承知おきください。

■セミナー参加申込

JAISA 個人情報保護方針(https://www.jaisa.or.jp/privacy_policy.php)をご確認の上、下記 URL の申込フォームに必要事項を記入し、お申し込みください。

><https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oeka-lhsbre-a3dfa64b23cd8d639bc3e124e69d5b9c8>

<略号等>

[1] EU AI Act : European regulation on artificial intelligence (AI)

[2] SC37 : Sub Committee Biometrics

[3] SC42 : Sub Committee Artificial Intelligence

[4] ISO/IEC 42001 : Artificial Intelligence Management System (AIMS)

[5] ISO/IEC 9868 : Remote biometric identification systems — Design, development, and audit

[6] ISO/IEC 5152 : Biometric performance estimation methodologies using statistical model